

## ならちゅうしん経営研究会 例会報告

### 第 316 回 研究会

**日 時** 平成 29 年 10 月 18 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 6 時 10 分

**場 所** 株式会社上杉食品 本社

**内 容** 1部 株式会社上杉食品工場見学  
2部 ご講演 於：季節料理 戸田家  
代表取締役 上杉 憲史氏  
専務取締役 上杉 真弘氏

今回の研究会は、会員企業の株式会社上杉食品（代表取締役上杉憲史氏）を訪問させて頂きました。当社は、昭和 17 年に創業され今年で 75 年目をむかえる歴史ある企業で、こんにゃくの製造を主業とされています。主原料である蒟蒻芋・蒟蒻澱粉は、すべて国産使用にこだわり、古代より親しまれてきた、こんにゃくを自然、健康にお客様に届けることをモットーに、信頼され続ける企業を目指しています。

1 部は、株式会社上杉食品本社工場を見学させて頂きました。3 班に分かれて、本社 2 階事務所より、“こんにゃく”と“わらび餅”の製造ラインを見学させて頂き、工場長の吉富常務より生産工程について説明を受けました。続いて工場 1 階にある出荷場と冷凍庫を見学させて頂きました。自社製品、PB 製品、仕入商品等、数多くのアイテムが整理整頓された状態で置かれており、当社のレベルの高い管理体制を勉強させて頂きました。

2 部は、会場を『季節料理 戸田家』に移して、上杉社長・上杉専務より、ご講演を頂きました。上杉社長より、当社の沿革をお話し頂きました。上杉社長は、お父様を早くに亡くされ、お母様が王寺町で細々と経営されていた家業を引き継ぎ、当時 2,000 万円だった売上が現在は 5 億円と、25 倍の商いにし、業界において奈良県内有力業者の一角を担う企業に成長させました。原料は国産使用に拘り、新工場の建設、経営革新認定の取得、新商品の開発と、絶え間ない努力を続けて来られました。ご講演のなかで、バブル経済を乗り越えた節税テクニックや、大手スーパーへの“わらび餅”の納入に関わるトラブル、プロフェッショナル人材の必要性など、参加者の皆様にとって、多くの興味深いお話しを頂きました。

続いて上杉専務よりご講演を頂きました。事業後継者として育ち、学卒後3年間酒類の卸売会社で勉強をされた後に、当社に入社されました。後継者としての重圧を感じながら、新しいことにチャレンジしていく姿勢には、若手の参加者の皆様は共感を受けるものがあつたかと思えます。今後の経営方針のお話しでは、スーパー向けに偏っている売上構成比を下げる。そのために新商品を開発し、外食産業向けの販売を強化していくとのことでした。その後、プロフェッショナル人材の活用について、レイスマネジメントソリューションズ株式会社の竹田様よりお話しを頂きました。

研究会のあとの懇親会は、そのまま引き続き『季節料理 戸田家』で行い、ご講演を頂きました上杉社長・上杉専務に加えて、当社顧問弁護士の渡辺弁護士と前述の竹田様も同席頂き、歓談を楽しみました。帰りには株式会社上杉食品様より、参加者の皆様に対して、当社商品の詰め合せセットがお土産として配布されました。



1部 株式会社上杉食品工場見学



2部 株式会社上杉食品 上杉社長・上杉専務ご講演



懇親会 上田喜寛会長ご挨拶